

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.58 泉・東習志野団地大規模改修事業			担当課	住宅課			予算費目名	款 08	項 04	目 02
事業概要 及び目的	建物の老朽化が進んでいること、また住戸内に浴室がないことなど、良好な居住環境が確保されていない市営住宅の大規模改修を行う。	成果 目標	成果指標	改修計画棟数	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度		
			計画値	7棟	予算額(単位:円)	9,800,000	25,200,000	217,482,000	213,052,000		
					決算額(単位:円)	7,140,000	18,751,902	179,354,490			
					従事職員数	3	4	5			
事業の 位置づけ	章 3	安全で安心な暮らしができるまち	★左記施策(号)との結び付き								
	節 3	快適な生活環境の創造	大規模改修工事を行うことにより、住環境の向上が図られ、良質な住宅ストックの供給につながる。								
	項 2	住宅政策の充実									
	号 1	良質な住宅の供給推進									
民間活力の導入	現状は? : <input type="checkbox"/> 実現している <input type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし 相手は? : <input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 企業・学校等 形態は? :										

2. 進捗状況

				平成 21 年 7 月 17 日記入					平成 22 年 6 月 1 日記入					平成 23 年 4 月 25 日記入
年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	設計	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	設計及び 仮移転	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	工事及び 設計	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・泉団地 1～4 号棟の大規模改修に関する基本設計 ・各団地管理人への工事内容説明会の開催			H21 年以降は、実施設計及び工事を予定している。	・泉団地 1 号棟大規模改修工事に関する実施設計 ・泉団地 1 号棟入居者の仮移転作業 ・泉団地 1 号棟入居者仮移転先空家改修工事			H22 以降は、泉団地 1 号棟大規模改修工事及び泉団地 2 号棟大規模改修工事実施設計委託を予定している。	・泉団地 1 号棟大規模改修工事 ・泉団地 2 号棟大規模改修工事に関する実施設計 ・泉団地 1・2 号棟戻り入居及び仮入居移転作業 ・大規模改修に伴う実施設計及び工事			平成 23 年度以降は、各年度 1～2 棟ずつ改修工事を実施し、全 7 棟の工事完了まで事業を継続する。		
継続している 事項	・大規模改修に伴う実施設計及び工事				・大規模改修に伴う実施設計及び工事				・大規模改修に伴う実施設計及び工事					
未着手事項	・				・				・					
改善案				成果指標 実績値 0 達成率 0%				成果指標 実績値 0 達成率 0%				成果指標 実績値 14.3% 達成率 14.3%		

3. 今後の方向性

		※課内協議を経て管理職が記入してください。平成 21 年 7 月 22 日協議実施				平成 22 年 6 月 2 日協議実施				平成 23 年 4 月 26 日協議実施								
今後の方向性	成果の方向性	拡充				○	成果の方向性	拡充				○	成果の方向性	拡充				○
		現状維持						現状維持						現状維持				
		縮小						縮小						縮小				
		休廃止						休廃止						休廃止				
			休廃止	縮小	現状維持	拡充			休廃止	縮小	現状維持	拡充			休廃止	縮小	現状維持	拡充
		コストの方向性						コストの方向性						コストの方向性				
		★上記を選択した根拠 高齢化社会の進行などにより、市営住宅の入居希望者は、依然として多い。良質な居住環境を確保した住宅の提供は、今後もさらに求められていくものである。						★上記を選択した根拠 高齢化社会の進行などにより、市営住宅の入居希望者は、依然として多い。良質な居住環境を確保した住宅の提供は、今後もさらに求められていくものであり安全で安心して暮らせる住宅が必要である。						★上記を選択した根拠 高齢化社会の進行などにより、公営住宅の需要は依然として高い。良質な居住環境を確保した住宅の提供が必要であり、特に老朽化が著しい泉・東習志野団地については、今後も計画通りに改修事業を進めていく必要がある。				
方向性を実現するため実施すること (改革案)	事業を実施するためには、入居者の理解・協力が欠かせない。入居者への説明を十分に行い、要望等を取入れ、事業が円滑に行えるよう準備を整える。				H22 年度末には、1 号棟の工事が完成し、入居者の戻り入居や、2 号棟入居者の仮移転が重なってくるため、スケジュール管理をしっかりと行い、短期間でスムーズな転居を目指す。				平成 23 年度は泉団地 2 号棟の改修工事の他に、泉団地 3 号棟及び東習志野団地 1 号棟の実施設計を行う。東習志野団地については、改修工事実施に向けて、仮移転先を確保し、入居者への説明を十分に行い、事業が円滑に行えるよう準備を整える。									
前年度改革案の 実施状況	<input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 事業実施なし				<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> その他 ★実施以外は具体的に記載してください。									